

## 「タジキスタン国立文書館の保存、デジタル化および利用のための機材整備計画」 引渡し式実施

2025年5月6日、古田恵子大使は、マトルバホン・サットリヨン文化大臣とともにタジキスタン国立文書館を訪問し、JICA 実施の一般文化無償資金協力プロジェクト（8,380万円）で供与された文書保管・デジタル化用機材の引渡し式に出席しました。式は、当地 JICA 事務所とプロジェクト関係者の出席を得て行われました。



本プロジェクトでは、国立文書館に所蔵する文書へのアクセスを容易にし、かつ文書館のサービスの質を向上させることを目指して、図書・文書の保存場所の改善、デジタル化用機材の供与がなされました。100以上に及ぶ供与機材には、適切な温度・湿度を保つためのエアコン設備、防火システム、防犯カメラ、高機能スキャナー、コンピューター、プリンター、サーバー設備が含まれます。これらの機材を活用することにより、文書館所蔵のタジキスタン文化遺産が適切に保存され、オンラインで一般公開できることとなります。

スピーチの中で、サットリヨン文化大臣からは、タジキスタン政府が掲げる近代化の方針に沿う文化省として本プロジェクトによる支援への謝意が示されました。古田大使から、日本政府により供与された機材がタジキスタンの長い歴史・伝統・文化を研究するために活用される確信とともに、両国間の文化分野における連携交流が今後ますます促進していくことへの祈念が示されました。

